

JET青年日本語研修 スピーチクラスについて

■授業のねらい

「スピーチを学ぶ」のではなく、「スピーチで学ぶ」のが目的です。スピーチをする機会は少ない人たちなので、「まとまった長い話をするために、スピーチという練習方法を学ぶ」ということをオリエンテーションで意識付けます。スピーチという練習方法は、書いて、直して、覚えて、話して、質問に答えるという、一つの話題についての話を何度も繰り返すことで、いろいろな表現をしっかりと身につけるやり方です。また、レベルによって、下記のようなねらいがあります。

【下レベル】

- ① オハコの話題を作る
- ② 文を連ねて、まとまりのある話をする力をつける。
- ③ イントネーション、アクセント、ポーズなどに注意し、効果的に話す力をつける。

【上レベル】

- ① 構成に注意し、展開することによって、物事の詳細や自分の意見を効果的に伝える力をつける。
- ② イントネーション、アクセント、ポーズなどに注意し、効果的に話す力をつける。
- ③ ややフォーマルな場面におけるスピーチの言い回しおよび、QAの表現に慣れる。

■ クラス

レベル別。1クラス8名。

■ スケジュール

8月15日(金)	授業説明と導入(2時間)	宿題:原稿作成
8月18日(月)	原稿チェックとハンドアウト作成(1時間)	
8月19日(火)	話し方チェック(1時間)	
8月20日(水)	発表会(3時間)	

■授業の流れ

① 8月15日(金)授業説明と導入

【授業説明】

- (1) 長い話、複雑な内容の話をする時の、むずかしい点について話し合う
- (2) 授業のねらいについて説明
- (3) 全体のスケジュールについて説明

【導入】

- (1) 談話形成への意識付け。スピーチの構成パターンとディスコースマーカを紹介
- (2) トピックと語彙・表現の導入
 - ・フローチャートから順に進める。Q&Aをしながら、必要に応じて語彙・表現を導入する。
 - ・自由に話し合い、出てきた語彙・表現を板書。
- (3)スピーチ作成準備
 - ・構成シート「スピーチを書く前に」を使って、発表の構成を考える。

【宿題】

- ・スピーチ原稿(5分程度 A41枚程度)を書く。
- ・月曜日の朝、原稿提出。もしくは、担当者に直接メールで原稿を送る。

② 8月18日(月) 原稿チェックとハンドアウト作成 (1グループ50分×2)

2つのグループに分かれて1時間づつクラスがあります。

- (1) 1人10分程度原稿チェック
 - (2)その他の人は、以下の作業を各自行う
 - ・「チェックポイントシート」を配り、原稿を推敲させる
 - ・「ハンドアウト例」を配り、ハンドアウト作成(余裕のあるクラスのみ)
- 訂正した原稿とハンドアウトを、19日の朝、担当教師に渡す。

③ 8月19日(火) 話し方チェック (1グループ50分×2)

2つのグループに分かれて1時間づつクラスがあります。

- (1) クラス全体で、話し方チェック
 - ※スピーチの一節を語らせて、発音、ポーズ、イントネーションなどをチェックする。
 - 他の人も聞いて、「わかりやすい話し方」を意識化する。
- (2) 1人づつ、原稿最終チェックと、話し方練習
- (3)その他の人は、話す練習→1人で/グループで
 - 上クラスは、「質問する」「質問に答える」「司会をする」を見て練習。
 - 司会(前半1人、後半1人)を決めて練習させてもよい。

④ 8月20日(水) 発表(3時間)

- ・最初に評価シートを紹介して、評価の観点を確認してください。
- ・スピーチ5分、QA5分ぐらいのペースで進めてください。
- ・評価は、最後にまとめて、あるいは、半分終わったところでおこなってください。
 - ⇒ 発表者は自己評価し、クラスメートと先生は、コメントを述べてください。